

令和４年度事業実績（概要）

1 配合飼料価格差補てん事業（業務対象年間：令和３年度～６年度）

第１四半期から第４四半期まで、連続して発動した。特に、異常補てんが通常補てんを上回る状況も見られ、総額８５億円を超える交付状況となった。ただし、基金が枯渇し、借入を行うとともに、払い切りも発生した。

契約件数８１５件、契約数量１，２００，０５５ｔ

前年度最終実績比較 契約件数４８件、契約数量７１９ｔの増加

2 畜産振興事業等の推進

（１）肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（業務対象年間：令和２年度～６年度）

（公社）宮崎県畜産協会の委託を受け、個体登録等の事務を行った。なお、乳用種において補給金が交付され、１９１頭、４，７１４，３００円となった（第４四半期分を除く）。

契約生産者数１１戸、個体登録頭数２，５１４頭

（２）肉用牛肥育経営安定交付金制度事業（業務対象年間：令和４年度～令和６年度）

（公社）宮崎県畜産協会の委託を受け、個体登録や生産者負担金の徴収等の事務を行った。交付金は１７，９８８頭、８１８，９６７千円となった。

契約生産者数７１戸、個体登録頭数２７，５３４頭

積立金納付額６５４，１６７，２００円

（３）肉豚経営安定交付金制度事業（業務対象年間：令和３年度～５年度）

事務代行を希望する生産者と委託契約を締結し、書類の作成支援や負担金の徴収等の事務を行った。なお、交付金の発動はなかった。

契約生産者数６２戸、対象頭数４５０，５７２頭、納付額１４８，８０５，５８０円

（４）リース事業

事業実施者の償還額を徴収し、納付するとともに、事業の活用を推進した。

畜産環境整備機構関係リース事業については、年度末残高２７件、
７１，９２９，１７７円となった。

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業については、荷受組合等と連携し、４戸の申請書の作成支援、８戸の検収等を行った。

（５）家畜防疫互助基金支援事業（業務対象年間：令和３年度～５年度）

（公社）宮崎県畜産協会の委託を受け、生産者積立金の徴収等の事務を行った。

契約生産者数１３１戸、契約頭数５２１，４７６頭、積立金額６９，１７１千円

（６）畜産コンサル体制強化支援事業

（公社）宮崎県畜産協会の委託を受け、飼料荷受組合等を対象として、Ｗｅｂ方式等により、研修会を３回実施した。

(7) 畜産セーフティネット対策緊急強化事業（令和4年度：県単独事業）

配合飼料価格の高騰に対応するため、配合飼料価格安定制度に係る生産者積立金相当額の一部を支援し、畜産農家の経営安定を図った（200円／トン）。

対象数量801件 対象数量1,201,583トン

支払い額240,316,600円

(8) 配合飼料価格高騰緊急特別対策事業（令和4年度：国予備費対応）

生産コスト削減や飼料自給率の向上に取り組む生産者に対し、4年度第3四半期を対象に、実質的な飼料コストを第2四半期と同程度の水準とするため、補てん金の交付を行った（6,750円／トン）。

交付対象件数791件 対象数量295,078,507kg

対象金額1,991,779,902円（5件の辞退含む）